

謝 辞

「1948 福井地震報告書」の作成・出版にあたり、ご協力いただきました下記の方々に感謝申し上げます。

協力いただいた個人

小鍋文敏氏
故 加藤恒勝氏
故 小寺義男氏
柴田亮俊氏
故 清水忠雄氏
永井竜己氏
故 若林喜良氏

協力いただいた機関・団体

朝日新聞社
気象庁
（株）現代史料出版
国土地理院
中央三井信託銀行福井支店
中日新聞社
福井新聞社
読売新聞社

※ 個人、団体五十音順

この報告書は、災害教訓の継承に関する専門調査会の下に設けた小委員会において検討され、平成22年9月30日に開催された同調査会で承認されたものである。執筆は、

伊藤 和明	災害教訓の継承に関する専門調査会座長
北原 糸子	災害教訓の継承に関する専門調査会小委員長
(主査) 中林 一樹	首都大学東京都市環境学部教授
山本 博文	福井大学教育地域科学部教授
谷口 仁士	立命館大学歴史都市防災センター教授
石田 端穂	独立行政法人海洋研究機構特任上席研究員
田中 淳	東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター センター長
木村 玲欧	富士常葉大学環境防災学部准教授

の各委員及び

安藤 雅孝	Institute of Earth Sciences, Academia Sinica
内山 秀樹	仁愛女子短期大学教授
木村 哲也	福井大学医学部救急医学講座准教授 福井大学災害ボランティアセンター
日下 幸則	福井大学医学部医学科教授
小嶋 啓介	福井大学大学院工学研究科教授
坂本 功	東京大学名誉教授
多仁 照廣	敦賀短期大学教授
田中 和子	京都大学大学院文学研究科教授
吉川 博輔	仁愛女子高等学校 非常勤講師
吉田 雅穂	福井工業高等専門学校環境都市工学科准教授

が行い、

中林 一樹、山本 博文

は、報告書内容の確認を行った。担当は以下のとおりである。

はじめに (中林一樹)

第1章 福井地震災害の概要 ー戦災・震災・水災ー (伊藤和明)

第2章 福井平野と福井地震断層・福井東側地震断層 (山本博文)

第3章 福井地震の特徴 (石田端穂、安藤雅孝)

第4章 福井地震の被害の特徴

第1節 福井平野の地盤条件と地震動の特性 (小嶋啓介)

第2節 福井平野の地形と福井地震建物被害分布 (吉川博輔)

第3節 福井空襲の被災と福井地震 (谷口仁士)

第4節	福井地震における地震火災（中林一樹）
第5章	被災者の記録から読みとく被災実態
第1節	埋もれていた「被災者実態調査」から（木村玲欧）
第2節	福井地震の体験 -地震体験と家族-（多仁照廣）
第3節	被災者の体験記 -加藤恒勝氏の手記-（吉田雅穂）
第6章	福井地震と社会対応
第1節	経済的視点からの復興（田中和子）
第2節	福井軍政部報告にみる震災後の福井（北原糸子）
第3節	福井地震と災害救助法（田中淳）
第4節	福井地震時の災害医療体制（木村哲也・日下幸則）
第5節	福井地震と建築基準法の制定（坂本功）
第7章	福井地震からの都市復興の特徴
第1節	福井地震からの震災復興の取り組み（中林一樹）
第2節	都市復興事業の実施過程-担当者の回想から-（内山秀樹）
第8章	福井地震と豪雨災害（山本博文・吉川博輔）
第9章	福井地震から学ぶ教訓（中林一樹）
コラム1	サマータイムと福井地震（伊藤和明）
コラム2	福井地震と福井城石垣の崩壊（山本博文）
コラム3	福井地震の余震観測（石田瑞穂）
コラム4	福井地震と震度7（石田瑞穂）
コラム5	P波初動分布と発信機構解（石田瑞穂）
コラム6	見過ごされた液状化（小嶋啓介）
コラム7	丸岡城の悲劇と復興（谷口仁士）
コラム8	地震に耐えた酒伊ビル（現中央三井信託銀行福井支店）（吉田雅穂）
コラム9	福井地震を生き延びたコシヒカリ（中林一樹）
おわりに	（中林一樹）

伊藤委員は、報告書全体の確認を行った。

なお、事務局の担当は以下のとおりである。

（事務局）	仲程倫由	内閣府災害予防担当
	山崎速人	内閣府災害予防担当（平成22年1月まで）
	相澤竜哉	内閣府災害予防担当（平成22年3月まで）
	道城 竜	内閣府災害予防担当

平成23年3月

内閣府政策統括官（防災担当）

本報告書のとりまとめは、株式会社地域開発研究所に委託し、実施した。